

教案：身だしなみに気をつけよう

1. 目的、ねらい

清潔好きな日本人との生活、アルバイトをすることなどを考えると、身だしなみはとても大切なことである。また外見は判断の基準になりやすい。問題があっても注意しにくいことでもある。お互いに不快な思いをせずにごさげよう、注意すべき点を認識させる。

2. 解説と授業の展開

(1) TP0: Time(時間)、Place(場所)、Occasion(場合)を考える

「登校するのにふさわしい服装」=「活動しやすい服装」について考える。

1) 具体的にあげさせる。

2) 自転車で通っている学生がほとんどなので、自転車に乗ってあぶくない服装とは。

3) 学校で授業を受けるのに、どのような服装が適していないのか。

4) 女子学生の場合、俗世や、髪の色についても考えさせる。

(2) 日本人がよく使う「こさっぱり」という言葉

1) どういう意味?

→ 着飾ることではなく、相手に清潔感を与えることが大切。

2) そのためにはどうしたらいいのだろうか?

① 服 同じ服を何日も続けて着ない。

しわだらけの服もよくない。

靴下も穴など気にしたほうがいい。→ いつ靴を脱ぐ機会があるかもしれない。

② 髪 寝癖をつけたまま登校しない。

伸びたら切る。

③ 爪 アルバイトをしはじめると、特に気をつけなければいけない。

→ いちばん清潔かどうかが見えるところだから。

④ 毎日の入浴

日本人は毎日お風呂に入るのには理由がある。

→ 日本の天候は湿度が高い。特に夏は湿度も気温も高く大量の汗をかく。

大陸の北方とはまったくちがうので、同じようにしていると、臭いの元になってしまう。

(3) 日本の習慣

1) 建物の中に入ったら、上着、帽子は脱ぐ。

① 一般常識として脱ぐものになっています。

② 本来は帽子も上着も建物の玄関で脱ぐのがマナーである。

- ③帽子は必ず玄関で脱いでください。
- ④上着は教室では脱ぐようにする。
- ⑤建物の中に入るとエアコンが手いているので、着ている必要がない。

2)ハンカチの常時携帯

- ①最初にハンカチをもっているかどうかの確認をした後で、日本では携帯のペーパータオルは使わないで、ハンカチを使う。
- ②基本的にはポケットに入れてあるのが一番いい。
- ③トイレなどで手を洗ったら、トイレットペーパーなどは使わず、すぐにハンカチでふく習慣をつける。

3)ポケットに手を入れるのはマナー違反。

- ①ポケットに手を入れて話すのは、相手に対して失礼な行為になる。

4)誤解を受けないように・・・

- ①なぜ、何日も同じ服を着てはいけないのか、「こさっぱり」以外のもうひとつの理由がある。
→日本人社会では、昨日と同じ服を着て、登校したり、入社したりすると、「朝帰り」と思う人が多い。
- ②「朝帰り」：何らかの理由で帰宅せず、外出先で夜を明かし、帰りが次の日の朝になってしまうこと。朝帰りして帰ってきた人を見て、「仕事が忙しかったんだ」と思う人は少ない。ほとんど、「一晩中遊んでいた」と思われる。
→いらぬ誤解を受けないためにも、服は毎日着替えるようにする。

以上